



**野菜の細菌病に実績あり!!**

予防散布を徹底して下さい。

スターナは住友化学(株)の登録商標です。

野菜・その他の細菌病防除剤

**スターナ**<sup>®</sup> 水和剤

# 野菜・その他の細菌病防除剤

# スターナ<sup>®</sup>水和剤

## 【適用病害と使用方法】 有効成分: オキソリニック酸……20.0%

2017年9月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキソリニック酸を含む農薬の総使用回数	
ねぎ	軟腐病 黒斑細菌病	2000	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散 布	3回以内	
はくさい		1000			2回以内		2回以内	
レタス		2000			3回以内		3回以内	
非結球レタス	腐敗病	2000		収穫14日前まで	5回以内		5回以内	
キャベツ	軟腐病・黒斑細菌病	1000		収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
たまねぎ	軟腐病	収穫14日前まで		3回以内	3回以内			
ブロッコリー	軟腐病・黒斑細菌病	収穫前日まで		5回以内	5回以内			
カリフラワー	2000			収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
はなっこりー				収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
ピーマン	1000			収穫7日前まで	5回以内		5回以内	
ばれいしょ				収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
だいこん	軟腐病	2000		収穫前日まで	5回以内		5回以内	
セルリー				収穫7日前まで	3回以内		3回以内	
パセリ		2000		収穫14日前まで	2回以内		2回以内	
エンダイブ				収穫7日前まで	3回以内		3回以内	
さんとうさい		1000		収穫前日まで	2回以内		2回以内	
チンゲンサイ				収穫7日前まで	3回以内		3回以内	
ズッキーニ	軟腐細菌病			収穫7日前まで	2回以内		2回以内	
にんじん	軟腐病・斑点細菌病			収穫14日前まで	6回以内		6回以内	
らっきょう	2000			植付前	1回	種いも吹き付け処理	(種いもへの吹き付けは1回以内、植付後は5回以内)	
アスパラガス				—	5回以内	散 布	5回以内	
たばこ	空洞病	1000~1500	25~180ℓ/10a	収穫10日前まで	—	球根吹き付け処理	1回	
こんにゃく	腐敗病	1000	100~300ℓ/10a	収穫14日前まで	5回以内	—	—	
きく	斑点細菌病	30~100	種いも1m <sup>2</sup> 当り150mℓ	植付前	1回	—	—	
カラ一	軟腐病	1000	100~300ℓ/10a	—	5回以内	—	—	
		30	球根100kg当り1~3ℓ	定植前	1回	球根吹き付け処理	1回	

●稻(もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、葉鞘褐変病、内穎褐変病)、小粒核果類(かいよう病)、もも・ネクタリン(せん孔細菌病)、なし(枝枯細菌病)にも登録があります。

### 上手な使い方

細菌性病害は薬剤防除だけでは充分な効果が得られないのが実情であり、スターナにおいても例外ではありません。したがって、可能な限りの耕種的防除と組み合わせて、薬剤効果を高めることが重要です。

スターナ散布においては……

- ①実用場面では病勢が進展してからの散布では効果(治療的効果)は期待できないので、作物の生育ステージと気象条件を見ながら、発病前からの散布(予防的防除)を徹底してください。
- ②1週間間隔の散布を基本とします。但し、降雨等の気象条件により病勢進展が早まることが予想される場合には、散布間隔を狭め、早めの散布を心がけてください。降雨後に散布する場合は、降雨後すぐの散布が効果的です。

- ③一般的には本剤のみの防除に頼るのではなく、他に有効薬剤があればそれも活用することをお勧めします。

以上を基本とし、具体的な作物ごとの使用にあたっては、各地域の指導を受けてください。

### 使用上の注意<抜粋>

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- カラーに吹き付け処理の場合、噴霧器を使用し、球根全体に薬液を付着させてください。また、薬剤処理後、風乾してから球根を定植してください。
- 野菜類の細菌病に使用する場合、多発条件下では効果が劣る例もみられるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品种に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

29H10J17S13:ZS

2017年10月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐへ  
SCA GROUP

住友化学

T104-8260 東京都中央区新川12丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト [農力](https://www.i-nouryoku.com) https://www.i-nouryoku.com

